

住民主体のまちづくり

No.33 2016. 8

編集発行：車尾まちづくり推進会議 事務局

■ 日野川清掃

環境をよくする会は、住民に呼びかけ7月3日（日）に恒例の日野川一斉清掃に参加する予定でしたが悪天候のため中止になりました。

準備された方々はご苦労様でした。



■ 外部講師による指導助言（その2）

特殊詐欺被害を防止する取り組みとして、社会福祉協議会は県消費生活センターと連携して、7月12日（火）に公民館で自治会長・民生委員・在宅福祉員・社会福祉協議会代議員に呼びかけ、消費者見守りサポーター養成講習を行いました。

講師は、公益財団法人消費者教育支援センターの柿野成美主任研究員に「地域で防ぐ消費者トラブル～見守り活動の充実に向けて～」と題してお願いしました。

誰もがだまされる可能性がある。加齢ともなう判断力の低下や健康・経済的な不安により高齢者が悪質事業者のターゲットになる。と説明された。次にDVDを見て、映像のような被害に遭わないための、見守りチェックポイントをワークショップで学びました。最後にグループごとに、高齢者の消費者被害防止策を発表し合いました。在宅福祉員は「地域に根付いたサポーターが見守ることで被害を未然に防ぎ、例え被害があっても最小限にとどめることができます。」と意欲的です。民生委員は「ワークショップで、活用できる資源（人、組織、取組）を洗い出し、個人でできること、地域でできることを明確にかかげる」

社会福祉協議会の会長は「行政・住民・企業等が協働で消費者トラブルを撲滅し高齢者を見守る体制の構築が我々の急務です。」と力説しました。



■ 特殊詐欺被害を防止する講習会

社会福祉協議会は、7月19日（火）に米子警察署生活安全課の中谷警部補を講師に「特殊詐欺被害を防止する取り組み」の講習会を行いました。内容は、「特殊詐欺電話へ出ない対策」「ATMに被害者が移動する様子の見分け」「被害に遭う時間帯の見回り強化」についてです。始めに、特殊詐欺被害の現状を米子市・鳥取県について説明されました。



次に民生委員の有志により警部補作成の台本により「朗読劇」を2本上演されました。そして劇の筋書きから、警部補は被害者になるポイントの場面を的確に指摘されて、参加者に納得できるよう訴えかけられました。

意見交換では参加者から積極的な発言が多数あり、今後の取り組みに期待できると思います。

自分たちのまちは自分たちで（ つくる つなぐ つづける ）